



2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月14日

上場会社名 日創グループ株式会社 上場取引所 東 福
 コード番号 3440 URL https://www.nissogroup.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR・SR部長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-555-2825
 半期報告書提出予定日 2026年4月14日 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（個人投資家・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA※		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	10,592	△13.1	570	△33.9	1,067	△12.9	594	△32.5	247	△67.6
2025年8月期中間期	12,189	44.8	862	6.0	1,225	13.3	880	3.8	766	27.2

(注) 包括利益 2026年8月期中間期 274百万円 (△64.3%) 2025年8月期中間期 768百万円 (27.8%)
 ※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	38.62	-
2025年8月期中間期	117.72	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期中間期	28,326	12,666	44.7
2025年8月期	26,948	12,648	46.9

(参考) 自己資本 2026年8月期中間期 12,666百万円 2025年8月期 12,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	-	0.00	-	40.00	40.00
2026年8月期	-	0.00	-	-	-
2026年8月期（予想）	-	-	-	42.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA※		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,600	2.4	900	△35.0	1,941	△9.5	890	△36.5	520	△43.3	80.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 35社 (社名) 東北クリーンエネルギー02合同会社 他34社 除外 一社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年8月期中間期	6,832,500株	2025年8月期	6,832,500株
2026年8月期中間期	411,736株	2025年8月期	411,736株
2026年8月期中間期	6,420,764株	2025年8月期中間期	6,510,597株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	12
生産、受注及び販売の実績	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の状況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、一部に足踏みが見られるものの、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、海外における金融引き締め継続や地政学的リスクの高まり等を背景に、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当中間連結会計期間の業績につきましては、金属加工事業においてデータセンター関連案件が好調に推移したほか、化成品事業では前連結会計年度に子会社化した大鳳株式会社及び株式会社泉製作所の業績が期首から寄与いたしました。建設事業においては、大型案件が集中し工事が大幅に進展した前期の反動により、当中間連結会計期間の売上高は10,592百万円(前年同中間期比13.1%減)、営業利益は570百万円(同33.9%減)、E B I T D Aは1,067百万円(同12.9%減)、経常利益は594百万円(同32.5%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は247百万円(同67.6%減)となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(金属加工事業)

データセンター関連案件は好調に推移しましたが、太陽電池アレイ支持架台及び金属サンドイッチパネルが減少し、売上高は3,843百万円(前年同中間期比9.1%減)、セグメント利益は245百万円(同66.8%減)となりました。なお、受注高は2,871百万円(同89.1%増)、受注残高は2,188百万円(同44.1%増)となりました。

(化成品事業)

前連結会計年度においてM&Aにより子会社化した大鳳株式会社及び株式会社泉製作所の業績が期首から寄与し、売上高は2,424百万円(前年同中間期比116.1%増)、セグメント利益は160百万円(同22.7%増)となりました。なお、受注高は2,466百万円(同845.7%増)、受注残高は320百万円(同22.8%増)となりました。

(建設事業)

大型案件が集中し工事が大幅に進展した前期の反動により、売上高は1,669百万円(前年同中間期比57.8%減)、セグメント利益は147百万円(同47.0%減)となりました。なお、受注高は1,821百万円(同12.6%減)、受注残高は1,436百万円(同31.1%減)となりました。

(タイル事業)

新商品及び自社湿式タイルのPR活動に積極的に取り組みましたが、住宅需要が全国的に減少している影響を受け、売上高は2,309百万円(前年同中間期比9.3%減)、セグメント利益は23百万円(同67.6%減)となりました。なお、受注高は2,513百万円(同219.2%増)、受注残高は1,049百万円(同33.3%増)となりました。

(その他)

売上高は334百万円(前年同中間期比0.3%増)、セグメント損失は121百万円(前年同中間期は63百万円のセグメント損失)となりました。また、受注高は335百万円(前年同中間期は22百万円)、受注残高は21百万円(同5.7%減)となりました。

(注) セグメント利益又は損失の合計額と営業利益との差異113百万円は、主として各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用であります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は16,616百万円となり、前連結会計年度末に比べ784百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,352百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が459百万円、商品及び製品が273百万円それぞれ減少したことによるものであります。また、固定資産は11,709百万円となり、前連結会計年度末に比べ593百万円増加いたしました。これは主に無形固定資産のその他が867百万円増加し、有形固定資産が138百万円、のれんが143百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、28,326百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,377百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は10,338百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,722百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が108百万円、短期借入金が2,050百万円それぞれ増加し、1年内返済予定の長期借入金が192百万円、未払法人税等が280百万円減少したことによるものであります。固定負債は5,320百万円となり、前連結会計年度末に比べ362百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が427百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、15,659百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,359百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は12,666百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は44.7%（前連結会計年度末は46.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月15日に公表の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,752	9,104
受取手形、売掛金及び契約資産	3,794	3,334
電子記録債権	1,169	1,193
商品及び製品	1,410	1,137
仕掛品	584	601
未成工事支出金	70	26
原材料及び貯蔵品	762	790
関係会社短期貸付金	130	210
その他	166	239
貸倒引当金	△9	△20
流動資産合計	15,832	16,616
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,538	2,477
機械装置及び運搬具(純額)	1,693	1,542
土地	3,025	3,095
リース資産(純額)	94	86
建設仮勘定	24	25
その他(純額)	95	105
有形固定資産合計	7,471	7,332
無形固定資産		
のれん	2,059	1,915
その他	96	963
無形固定資産合計	2,155	2,879
投資その他の資産		
投資有価証券	991	1,036
その他	512	505
貸倒引当金	△13	△44
投資その他の資産合計	1,489	1,497
固定資産合計	11,116	11,709
資産合計	26,948	28,326

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,106	1,214
工事未払金	159	123
短期借入金	4,150	6,200
1年内返済予定の長期借入金	1,093	901
未払法人税等	529	248
賞与引当金	165	177
その他	1,411	1,471
流動負債合計	8,615	10,338
固定負債		
長期借入金	4,849	4,421
退職給付に係る負債	175	198
資産除去債務	308	307
その他	350	393
固定負債合計	5,683	5,320
負債合計	14,299	15,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,190	1,190
資本剰余金	1,110	1,110
利益剰余金	10,672	10,664
自己株式	△345	△345
株主資本合計	12,629	12,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	45
その他の包括利益累計額合計	18	45
純資産合計	12,648	12,666
負債純資産合計	26,948	28,326

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
売上高	12,189	10,592
売上原価	9,344	7,720
売上総利益	2,844	2,872
販売費及び一般管理費	1,982	2,301
営業利益	862	570
営業外収益		
受取利息	2	7
受取配当金	1	4
その他	49	68
営業外収益合計	52	80
営業外費用		
支払利息	33	56
その他	1	0
営業外費用合計	35	56
経常利益	880	594
特別利益		
固定資産売却益	1	1
補助金収入	184	—
特別利益合計	185	1
特別損失		
固定資産除却損	0	0
その他	0	—
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益	1,066	595
法人税、住民税及び事業税	237	241
法人税等調整額	62	105
法人税等合計	299	347
中間純利益	766	247
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	766	247

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
中間純利益	766	247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	26
その他の包括利益合計	1	26
中間包括利益	768	274
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	768	274
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,066	595
減価償却費	307	354
のれん償却額	54	143
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	42
賞与引当金の増減額(△は減少)	18	12
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3	23
受取利息及び受取配当金	△3	△12
補助金収入	△184	—
支払利息	33	56
固定資産売却損益(△は益)	△1	△1
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	△926	438
棚卸資産の増減額(△は増加)	73	273
仕入債務の増減額(△は減少)	307	73
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9	△82
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△372	147
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△4	1
その他	216	△156
小計	576	1,909
利息及び配当金の受取額	3	10
補助金の受取額	184	—
利息の支払額	△34	△61
法人税等の支払額	△202	△502
営業活動によるキャッシュ・フロー	528	1,355
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	237	△26
有形固定資産の取得による支出	△416	△328
有形固定資産の売却による収入	1	125
無形固定資産の取得による支出	△36	△884
投資有価証券の取得による支出	△432	△3
関係会社貸付けによる支出	—	△80
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△761	—
その他	△2	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,409	△1,188
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,495	2,050
長期借入れによる収入	43	—
長期借入金の返済による支出	△524	△619
自己株式の取得による支出	△141	—
リース債務の返済による支出	△10	△15
配当金の支払額	△229	△255
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,632	1,159
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	751	1,326
現金及び現金同等物の期首残高	5,524	7,060
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,275	8,386

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属加工 事業	化成品事業	建設事業	タイル事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	4,228	1,121	3,959	2,544	11,854	333	12,188	—	12,188
その他の収益(注) 4	0	—	—	—	0	—	0	—	0
外部顧客への売上高	4,229	1,121	3,959	2,544	11,855	333	12,189	—	12,189
セグメント間の内部売上高 又は振替高	866	0	—	0	867	6	873	△873	—
計	5,096	1,121	3,959	2,544	12,722	339	13,062	△873	12,189
セグメント利益又は損失(△)	741	130	278	73	1,224	△63	1,161	△298	862

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ものづくりWEBサービス、システム受託開発及び木材加工を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△298百万円は、セグメント間取引消去15百万円、子会社株式の取得関連費用△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△308百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「化成品事業」において、大鳳株式会社及びフォームテックス株式会社が連結子会社となったことに伴い、当中間連結会計期間から連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当中間連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「化成品事業」において2,544百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「化成品事業」において、大鳳株式会社及びフォームテックス株式会社が連結子会社となったことに伴い、当中間連結会計期間から連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間においては347百万円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

当中間連結会計期間より、大鳳株式会社及びフォームテックス株式会社が連結子会社となったことに伴い、報告セグメントの名称を「ゴム加工事業」から「化成品事業」に変更しております。この変更がセグメント情報に与える影響はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属加工 事業	化成品事業	建設事業	タイル事業	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	3,843	2,424	1,669	2,309	10,246	334	10,581	11	10,592
その他の収益(注) 4	0	—	—	—	0	—	0	—	0
外部顧客への売上高	3,843	2,424	1,669	2,309	10,246	334	10,581	11	10,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	123	0	—	0	124	3	127	△127	—
計	3,966	2,424	1,669	2,310	10,371	337	10,708	△116	10,592
セグメント利益又は損失(△)	245	160	147	23	578	△121	456	113	570

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材加工・販売、住宅設備機器の企画・EC販売、ものづくりWEBサービス、システム受託開発、太陽光発電事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額113百万円は、セグメント間取引消去26百万円、子会社出資金の取得関連費用△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用87百万円であり、全社収益は主に各グループ会社からの経営管理料収入であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益は「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

(取得による企業結合)

当社は、2026年4月14日開催の取締役会において、株式会社B SLASH HOLDINGSの全株式を取得し子会社化すること(以下、「本株式取得」という。)について決議いたしました。なお、本株式取得により、株式会社B SLASH HOLDINGSの完全子会社である株式会社ベルフラッツ、株式会社ビーズネクサス及び株式会社ビーズコンセプトは、当社の孫会社となります。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

(子会社)

被取得企業の名称 株式会社B SLASH HOLDINGS

事業の内容 グループ会社の経営戦略の策定・指導・管理

(孫会社)

被取得企業の名称 株式会社ベルフラッツ

事業の内容 不動産分譲事業

(孫会社)

被取得企業の名称 株式会社ビーズネクサス

事業の内容 不動産のリノベーション事業

(孫会社)

被取得企業の名称 株式会社ビーズコンセプト

事業の内容 建築に関する企画、デザイン事業

(2) 企業結合を行う主な理由

2024年10月15日に公表した「第4次中期経営計画」に基づき、M&A投資を成長ドライバーとして位置付け、グループビジョンである「『創る』力で未来に挑む企業グループ」を形成していくためであります。

(3) 企業結合日

株式取得予定日 2026年5月7日

みなし取得予定日 2026年5月31日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

(6) 取得する議決権比率

取得前の議決権比率 ー%

取得後の議決権比率 100%

2. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

①生産実績

当中間連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
金属加工事業	2,509	68.1
化成品事業	708	229.0
タイル事業	380	83.8
合計	3,599	80.9

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値であります。
2. 建設事業については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績を記載しておりません。

②受注実績

当中間連結会計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)			
	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
金属加工事業	2,871	189.1	2,188	144.1
化成品事業	2,466	945.7	320	122.8
建設事業	1,821	87.4	1,436	68.9
タイル事業	2,513	319.2	1,049	133.3
その他	335	—	21	94.3
合計	10,007	214.2	5,015	107.3

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。

③販売実績

当中間連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
金属加工事業	3,843	90.9
化成品事業	2,424	216.1
建設事業	1,669	42.2
タイル事業	2,309	90.7
その他	334	100.3
全社・消去	11	—
合計	10,592	86.9

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月29日)		当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
株式会社大林組	1,968	16.1	—	—

当中間連結会計期間の株式会社大林組については、当該割合が100分の10未満のため、記載を省略しております。